

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：カンボジア王国

日付：2025 年 6 月 30 日

報告書名：令和 2 年度 完了報告書（国際協力機構（JICA）草の根技術協力事業）

令和 2 年度 国際協力機構（JICA）草の根技術協力事業 完了報告書

事業名	「遊びや環境を通した学び」に基づく幼児教育カリキュラム実践のための基盤構築事業 Building Foundation for Implementation of “Learning through Play and The Environment” based on the Cambodian Curriculum
事業対象地	カンボジア王国 プノンペン都、バットアンバン州
事業期間	2020 年 9 月 9 日～2024 年 4 月 30 日
公的資金種別	国際協力機構（JICA）草の根技術協力事業
総支出額	105,725,400 円
プロジェクト 目標およびそ の達成度	教育省幼児教育局がカリキュラムに基づく「遊びや環境を通した学び」の実践を各州に普及する準備が整うことを目標として事業を実施した。 本事業を通して開発したガイドブックが、教育・青少年・スポーツ省（以下、教育省）による承認を得て、現行カリキュラムの公式副教材となった。また、本事業終了前に教育省幼児教育局が作成したアクションプランでは、全国で指定基準を満たした幼稚園を増やすことを目指しており、特に幼稚園の環境や活動については、このガイドブックをさらに配布・活用しながら「遊びを通した学び」の実践を全国で推進し、さらにそのために必要な予算配分も行っていくことが示された。これらの状況から、プロジェクト目標は達成されたと言える。
実施内容概要	(1) 「遊びや環境を通した学び」の実践促進のための指導ガイドブックおよび活動事例集の開発 ガイドブック開発のため、教育省幼児教育局や幼稚園教員養成校などから成るタスクチームを結成し、ワークショップや現職教員研修後のモニタリングを行いながら改定を重ね、ガイドブックは最終的に教育省より承認された。幼稚園内での実践を載せた活動事例集も制作し、ガイドブックと合わせて印刷し、本事業対象幼稚園、全州の州教育局、中央幼稚園や教育局の関係部署等に配布した。 (2) 「遊びや環境を通した学び」の実践手法を普及する人材の育成 バットアンバン州内の対象 4 郡及び周辺 3 郡の郡教育局の幼児教育担当スタッフ及び中央幼稚園の教員に対し、タスクチームによるトレーナー養成研修を実施した。次にこの研修を受けた郡教育局スタッフ及び中央幼稚園教員らがトレーナーとなり、対象 51 園の教員、校長を対象に現職教員研修を実施した。またタスクチームとトレーナーを対象に訪日研修を行い、本事業の専門家である社会福祉法人天竜厚生会の受け入れのもと幼児教育研修を実施した。当専門家はその他複数回にわたってオンライン及び対面（現地渡航）でタスクチームやトレーナーを対象とした技術指導をおこない、ガイドブックの内容に合わせた助言や実践例の紹介、子どもの発達等に関して

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：カンボジア王国

日付：2025 年 6 月 30 日

報告書名：令和 2 年度 完了報告書（国際協力機構（JICA）草の根技術協力事業）

	の指導を行った。 (3) パイロット州の対象幼稚園における「遊びや環境を通した学び」の活動の質の向上 対象幼稚園に家具、教材及び絵本を配布した。(2)の現職教員研修実施後は、モニタリング及び各幼稚園での活動実践の成果や課題、課題解決に向けた対応、事業終了後の計画を確認するためのフォローアップ研修を実施した。さらに郡内の対象園同士が学び合えるよう、中央幼稚園の活動を視察する研修会も行った。
成果	(1) 「遊びや環境を通した学び」の実践促進のための補助教材として、現職教員向けの指導ガイドブックおよび活動事例集が開発され、対象幼稚園で導入された。 2023 年 12 月にガイドブックが完成し、カンボジア政府に承認された。その後、各州の教育機関に合計 1110 部（2024 年 4 月 15 日時点）のガイドブックが共有された。事業完了前にガイドブックの活用状況を確認したところ、対象者 124 名のうち 97.5% にあたる 121 名が「時々」以上に使用している、特にその内の 102 名（82%）は「いつも使っている」または「よく使っている」と回答しており、現場での活用率の高さを示していた。また、完了時調査で行ったモニタリングにおいても、実際に幼稚園でガイドブックに記載された活動内容の実践が行われていることが確認された。 (2) 「遊びや環境を通した学び」の実践手法を普及する人材の能力が教育省、幼稚部教員養成校及びパイロット州の州・郡教育局及び中央幼稚園にて強化された。 教育省幼児教育局や教員養成局、幼稚部教員養成校などの中央レベルの人材や、地方レベルでは対象州のバットアンバン州および州内 4 郡の教育局、中央幼稚園などの幼児教育に関わる人材 41 名がトレーナーとして育成された。「遊びや環境を通した学び」の実践手法の理解について、トレーナーを対象にアンケートによる自己評価を行ったところ、アンケートに回答したトレーナー36 名中 30 名（83%）が 5 段階評価の 4 以上、平均値が 4.27 という自己評価となり、「遊びや環境を通した学び」の実践手法への理解と自信の深まりが確認された。 (3) トレーナーによる現職教員研修を通じて、パイロット州の対象幼稚園における「遊びや環境を通した学び」の活動の質が向上した。 事業期間を通した対象幼稚園での教員の活動状況や活動の質の変化を把握するため、2 回の研修前後の教員の理解度テストや自己評価アンケート、対象幼稚園での事前・中・事後の活動状況のモニタリング、幼稚園関係者へのインタビューなどの各種調査を実施した。その結果、対象教員自身の能力や知識、自信の強化、対象幼稚園での活動状況とその質が改善されたことが確認された。

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：カンボジア王国

日付：2025 年 6 月 30 日

報告書名：令和 2 年度 完了報告書（国際協力機構（JICA）草の根技術協力事業）

課題と対応策	1. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う活動内容の見直し、事業の遅延、調整の難しさ 2020 年～2022 年にかけては、新型コロナウイルス感染症拡大による幼稚園の閉鎖と再開の繰り返し、それに伴う教育省をはじめとしたカウンターパートが対応措置で多忙であったこと、対面での活動や事業地訪問ができないといった状況で、計画通りの活動の実施が難しく、また、カウンターパートとのスケジュール調整にも時間を要した。 対応としては、コロナ禍においても効果的に成果達成に繋げることを念頭に、カウンターパートや本邦専門家と協議しながら、随時、活動内容、手法、スケジュールの見直しを行った。例えば、状況に合わせて活動実施時期を変更し、3 種類のガイドブックの草稿を前倒しし、オンラインでも実施が困難な研修やモニタリングを延期した他、研修実施時にも対面での参加者の人数を絞るなどの対応を取った。 2. 2018 年に改訂された幼稚園カリキュラムが浸透していない カンボジア教育省が 2018 年に改訂した幼稚園カリキュラムにおいて、「遊びを通して学ぶこと」が基本原則に含まれた。カリキュラム改訂後、教育省から各郡教育局や中央幼稚園への研修が実施されたが、一般の幼稚園においては、カリキュラム自体があまり浸透していないことがベースライン調査で確認された。本事業は、幼稚園教員が、改訂カリキュラムに基づいた「遊びや環境を通した学び」の活動手法を学び、各園で実践していくことを想定していたが、そもそも改訂カリキュラムを把握しておらず、従来の教員主導型の指導を継続している園も多く、さらに幼稚園教員の不足により小学校教員が幼稚園で教えている状況も事態に拍車をかけていたため、本事業での活動手法を取り入れていくためには教員のマインドセットの変化が必要であった。 対応としては、現職教員研修でカリキュラムに関する紹介を行う対応をした他、研修やモニタリングを含む各活動の中でタスクチームの教育省幼児教育局の職員から、「遊びや環境を通した学び」の実践を教育省として推進している旨を積極的に発信した。
--------	---